

# 2004 MOTORCYCLE SPORTS RULES

# DRAG RACE

## ドラッグレース



## CONTENTS

### ▼ 付則22 ドラッグレース競技規則

1. 適用の範囲	244
2. ドラッグレース	244
3. 競技会と開催クラス	244
4. レース出場車両	244
5. 参加資格	244
6. 参加申し込み	245
7. <b>参加受理</b>	<b>245</b>
8. ゼッケン・ナンバー	245
9. <b>ライダーの装備</b>	<b>245</b>
10. 出場受付	246
11. 出場車両の変更	246
12. 車両および装備の検査	246
13. スタート方法とスターティングシステム	246
14. <b>スタート手順</b>	<b>247</b>
15. 競技	249
16. <b>順位の設定</b>	<b>250</b>
17. 計測システムと計時結果	251
18. 禁止行為	251
19. リタイヤ(棄権)と停止	251
20. 賞典	251
21. レース終了後の車両保管と再車検	251
22. レースの成立	252
23. レースおよび大会の延期・中止等	252
24. 抗議	252
25. 違反に対する罰則	252
26. 本規則の解釈	252
27. 本規則の施行	252

### ▼ 付則23 2004年全日本ドラッグレース選手権大会特別規則

1. 公示	253
2. 開催種目と競技会の日程	253
3. 追加のクラス	253
4. コース	253
5. 大会審査委員会	253
6. 参加定員	254
7. 出場料および共済会掛金	254
8. ビット要員	254
9. ゼッケンナンバー	254
10. 公式予選	254
11. 決勝レース	254
12. コース選択	254
13. 賞および得点	254
14. 主催者の権限	255

15. 本規則の施行	255
------------	-----

### ▼ 付則24 ドラッグレースの仕様

1. チタニウム合金	256
2. エキゾースト・パイプ	256
3. ハンドルバー	256
4. コントロールレバー	257
5. スロットルコントロール	257
6. フットレスト	257
7. ホイール	257
8. タイヤおよびチューブ	257
9. ブレーキ	258
10. フロントフォーク	258
11. 最低地上高	258
12. フェンダー	258
13. フェアリング	259
14. シート	259
15. ナンバープレート	259
16. ウィリアーバー	260
17. プロテクティブ・カバー	260
18. フュエルタンク及びオイルタンク	260
19. 燃料システム	260
20. キャブレターとフュエル・インジェクション	261
21. キル・スイッチ	261
22. オイル・キャッチ・タンク	261
23. チェーン	261
プロストックバイク (PB) の車両規則	262
1. <b>クラス区分</b>	<b>262</b>
2. 車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない	262
3. 下記部品は各項の制限内で改造出来る (ドラッグレースの基本仕様に合致すること)	262
4. <b>重量</b>	<b>263</b>
5. 車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる	263
6. いかなる場合も禁止される事項	263
ストリートドラッグバイク (SD) クラスの車両規則	264
1. クラス区分	264
2. <b>車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない</b>	<b>264</b>
3. 車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる	265
4. いかなる場合も禁止される事項	265

ド  
ラ  
ッ  
グ  
レ  
ー  
ス

※2004年度の規則変更点は太字で示されています。

# 2004 DRAG RACE RULES

付 **22** 則

## ドラッグレース競技規則



### 1 適用の範囲

以下に記す規則は、国内競技規則に基づき、すべての国内のドラッグレース競技会に適用される。

### 2 ドラッグレース

- 2-1 ドラッグレースとは完全にクローズドされたコースで行われ、2台の車両が先着もしくは基準タイムでのゴールを競う競技である。
- 2-2 区間タイム (Elapsed Time: 以降E.T.という) を測定するコースの長さは下記4種類が設定される。
- 2-2-1 SS1/4マイル (402.33m)
- 2-2-2 SS1,000フィート (304.8m)
- 2-2-3 SS1/8マイル (201.165m)
- 2-2-4 SS250メートル
- 2-3 ストリートドラッグクラス (SD) のIndex Time (インデックスタイム)
- |                      |        |
|----------------------|--------|
| スポーツランドSUGO SS1/8マイル | 6.499秒 |
| ツインリンクもてぎ SS1/8マイル   | 6.499秒 |
| 鈴鹿サーキット SS250メートル    | 6.999秒 |
- ※コースの長さは大会特別規則、公式通知で変更される場合がある。

### 3 競技会と開催クラス

競技会と開催クラス、および出場可能ライセンスは以下のとおり。

大会格式 出場可能ライセンス	全日本選手権	地方選手権	公認競技会	承認競技会
ドラッグレースA級	PB	SB-EX		
ドラッグレースB級	—	SB	SD	SS-B I, SS-B II
エンジョイ会員証	—		SD	SS-B I, SS-B II

### 4 レース出場車両

- 4-1 一大会において同一車両を複数の種目のレースに使用することはできない。
- 4-2 一大会において同一車両を複数のライダーが使用することはできない。

### 5 参加資格

- 5-1 エントラント及びライダー

エントラント及びライダーは、2004年度版MFJ国内競技規則第3章〔⑬競技参加者〕(35頁)に合致していなければならない。

## 6 参加申し込み

- 6-1 参加申込場所は、大会特別規則の定めるところとする。
- 6-2 参加申込手続き
  - 6-2-1 各クラスとも所定の申込書に必要事項をすべて記入し、参加料およびMFJ共済会掛金を添えて大会事務局に提出しなければならない。
  - 6-2-2 2クラス以上に参加を申し込み場合は、別々に、申込書を提出しなければならない。
  - 6-2-3 郵送の場合は、現金書留又は主催者の定める方法とし、締め切り当日の消印のあるものが有効となる。
  - 6-2-4 電話による申込及び締め切り日以降の申込は一切受けつけない。

## 7 参加受理

- 7-1 必要事項を記入した参加申込書、金額を大会事務局が受理した時点で**参加とみなし**、参加受理書が発送される。
- 7-2 いったん受理された参加料、MFJ共済会掛金はいかなる理由があっても返還されない。公式予選を通過しなかった場合も同様である。
- 7-3 大会が取り止めになった場合、また参加が拒否された場合のみ参加料、MFJ共済会掛金が返還される(申込者が必要な手続きを怠った場合は、これにあてはまらない)。
- 7-4 競技の中止と参加料等の返却は、下記表の通りとする。

事例	参加料	共済会掛金
予選が1回も行われず中止	選手受付した全員に返却	共済会の適用となる練習走行が行われていなければ返却する
競技不成立の場合(クラス毎に判断する)	クラス単位で選手受付した全員に返却	1人(1組)でもスタートしたクラスは返却しない
競技が成立した	返却しない	返却しない

※返金の場合、事務手数料は差し引かれる。

## 8 ゼッケン・ナンバー

- 8-1 主催者によってナンバーが割り当てられ、参加受理書に記入して通知される。
- 8-2 ゼッケン・ナンバーは、車両検査までに規定の書体および色分けで記入しておかなければならない。
- 8-3 ゼッケン・ナンバーについては、車両検査以降においても、判断しにくいと判断された場合には修正が要求される場合がある。
- 8-4 最初決められたゼッケン・ナンバーは、年度末まで変更できない。

## 9 ライダーの装備

- 9-1 ヘルメット
  - 9-1-1 ヘルメットはMFJが公認したフルフェイス型のものとする。
  - 9-1-2 MFJの公認したヘルメットには、次頁の認証マークが貼付される。
  - 9-1-3 競技会の車両検査受付時に、ヘルメットの検査が行われる。MFJの公認したヘルメットでも、検査に合格しなかったヘルメットは、当該ライダーの安全上その使用を禁止する。
  - 9-1-4 MFJ公認ヘルメットであっても、MFJの公認マークの貼付されていないヘルメットにつ

## ドラッグレース競技規則

いては、特別検査料（1,000円）を支払い、特別に検査を受けなければならない。



- 9-2 ライダーの服装
- 9-2-1 レーシングスーツ
- 9-2-1-1 皮革もしくは、同等の素材であること。MFJ公認スーツが望ましい。MFJ公認でないスーツを使用する場合、ワンピースデザインもしくはウエストでつながるジッパータイプ。
- 9-2-1-2 ライダースーツ左胸前部内側または胸部前部下前立てに氏名および血液型を明記しなければならない。  
予告事項：2005年1月1日より、レーシングスーツは、MFJ公認のものに限られる。
- 9-2-2 ブーツ・グローブ  
ブーツはくるぶしが完全に覆われるもので、皮製、サイドボタнтаイプ。  
グローブは、手を覆うサイドボタнтаイプ。



MFJが公認したレーシングスーツには、シルバー地の公認マークが付いている。

- 9-3 競技中のライダーは、難燃性の素材を使用した肌着を着用しなければならない。

## 10 出場受付

- 10-1 出場受けの時間および場所は、公式通知に示される。
- 10-2 定められた時間内に、必ず本人または参加者がMFJライセンス、参加受理書を提出して出場資格の確認を受けなければならない。
- 10-3 MFJライセンスまたは参加受理書の提示ができない者は、出場が認められない。

## 11 出場車両の変更

- 11-1 車両の変更は国内競技規則・第3章〔㊦ライダーおよび車両の変更〕(38頁)による。
- 11-2 車両変更の申請は、同部門・同クラスの車両に限られ、手数料5,000円を添付して大会事務局に申請しなければならない。

## 12 車両および装備の検査

- 12-1 車両検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールに従って、パドック内の車両検査区域において行われる。
- 12-2 車両検査の車両は、ライダー本人が持参し、必ずタイムスケジュールに示された時間内に検査を済ませなければならない。これ以後の検査は大会審査委員会が、不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外は行われない。
- 12-3 ライダーは、車両仕様書を提出し、装備品一式の検査を受けなければならない。
- 12-4 車両検査持ち込み台数は、地方選手権および地方大会は出場1レースにつき1台に限られる。
- 12-5 車両検査において、規則違反または安全上出場が不相当と判断された車両は、公式予選を含む一切の走行を拒否される。
- 12-6 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車両検査を行うことがある。

## 13 スタート方法とスターティングシステム

- 13-1 スタート方法はスタンディングスタートとし、下記の2種類とする。クラス毎のスター

ト方法は大会特別規則に示す。

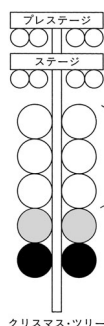
### 13-1-1 プロスタート

スリーアンバーライト（プレスタートライト）（3個同時）が点灯してグリーン（スタート）ライトが点灯までの間隔0.4秒。

### 13-1-2 ストックスタート

スリーアンバーライト（プレスタートライト）（上よりカウントダウン）が点灯してグリーン（スタート）ライトが点灯までの間隔0.5秒。

### 13-2 スターティングシステム（クリスマス・ツリー）



**Pre-Stage light**：スタートするために、まずプレステージライトを点灯させる。

**Stage light**：デュアルスタートの場合、対戦相手がプレステージライトを点灯させる前にステージライトを点灯させてはならない。

**Three Amber Light**：ステージライト点灯後1～5秒後に点灯。

(Pre-Startlight)

①Pro-Start：3段同時点灯。

②Stock-Start：上段より順次点灯。点灯間隔0.5秒。

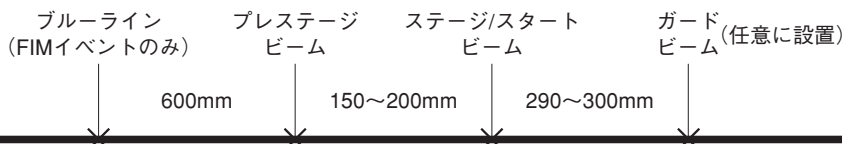
**Green-Start light**：スリーアンバーライト(プレスタートライト)点灯後

①Pro-Start：0.4秒、②Stock-Start：0.5秒で点灯。

**Red light**：Foul Start：グリーンライトが点灯する前にスタート／ガードビームを横切った場合に点灯。

### 13-3 スタートライン（ビーム）

スタートエリアには下図のようなライン／ビームがある。



#### 13-3-1 ブルーライン（FIMイベントのみ設置）

スターターの合図でステージングする際、フロントホイールがブルーラインを超えたら何者も車両に触れてはならない。

#### 13-3-2 プレステージビーム

このビームを横切るとプレステージライトが点灯する。

#### 13-3-3 ステージ／スタートビーム

このビームを横切るとステージライトが点灯する。

スタートの計時を開始するための光電管。

#### 13-3-4 ガードビーム（任意に設置）

車両の低い位置に着いている部品がステージビームを遮断したままの状態でフライングスタートが切られることを防止する。

ステージビームが遮断されたままガードビームが作動した場合、ファールとなる。

ド  
ラ  
ッ  
ゲ  
レ  
ー  
ス

## 14 スタート手順

### 14-1 バーンアウト

#### 14-1-1 クラスにより場所を制限する。

14-1-2 バーンアウトの際にセンターラインを超えてしまっても失格にはならない。

14-1-3 バーンアウト後ピットクルーが安全確認のために車両進行方向修正を行なう以外に車両に触れることは禁止される。

## ドラッグレース競技規則

- 14-1-4 ドライホップは1回まで許可される。
- 14-2 コース選択
- 14-2-1 タイムトライアルでは、コースイン順に競技役員の指示に従って行われる。
- 14-2-2 ラダー競技では、前のヒート（公式予選含む）のタイムの良い方に選択権がある。
- 14-3 ステージング
- 14-3-1 コースインした時点でスタート準備が完了していること。
- 14-3-2 セルフスタートし、セルフステージしなければならない。\*  
※セルフとは車両のエンジン動力で行うことを言う。
- 14-3-3 ステージビームと車両の位置を確認するために機械や電子装置等補助具を使用してはならず、ライダーの肉眼のみで行うこと。
- 14-3-4 ステージビームに進む前にプレステージライトを点灯させなければならない。デュアルスタートの場合は両者がプレステージライトを点灯するまでステージビームに進んではならない。
- 14-3-5 スタートするためには、プレステージライトを点灯させなければならない。ステージ完了前にステージライトを消灯した場合は、失格となる。ただし決勝ヒートにおいて両者がステージライトを消灯させてしまった場合は再スタートするものとする。
- 14-3-6 ステージのために与えられる時間のリミットはスターターに委ねられる。このリミットを越えた場合およびスターターの指示通りステージしない場合失格となる。
- 14-3-7 ステージ完了後ステージし直すことは禁止される。  
※ステージングの際、プレステージ・ステージライト点灯後、さらに深くステージングする為に前進してプレステージライトを消灯する、いわゆるディープステージは、ファールを誘発するため望ましくない。
- 14-3-8 ステージングが完了した時点で、出走とみなす。**
- 14-4 スタート
- 14-4-1 クリスマスツリーのグリーンライトが点灯した時をスタート合図とする。
- 14-4-2 決勝レースにおいてステージ完了後、スリーアンバーライトが作動（点灯）する前にステージライトを消灯した場合は、当該ヒート無効とする。
- 14-4-3 リアクションタイム（以下RTと呼ぶ）によって反則とみなされる場合を以下に示す。
- 14-4-3-1 ファールスタート
- 14-4-3-1-1 プロスタートの場合：RTが0秒以上～0.4秒未満
- 14-4-3-1-2 ストックスタートの場合：RTが0秒以上～0.5秒未満
- 14-4-3-2 ジャンプスタート  
RTが0秒未満

### 用語の説明

- ・ラダー (Ladder)  
トーナメント競技の組み合わせ表のこと。
- ・E. T. (Elapsed Time)  
スタートからフィニッシュまでの区間タイムのこと。
- ・R. T. (Reaction Time)  
リアクションタイムのこと。グリーンスタートライトが点灯してから車両が動き出すまでの反応時間。
- ・バーンアウト (Burn Out)  
タイヤのグリップ向上を目的として、スタートエリアに着く前に指示されたエリアで水を撒き、後輪を空転させて暖める行為。
- ・ドライホップ (Dry Hop)  
バーンアウト後にタイヤに付着したタイヤかすを飛ばしたり、水を乾燥させるために行う短い前進。
- ・ステージング (Staging)  
スタートエリアに入り、プレステージライトを点灯させるために移動を始めてから、ステージライトを点灯させるまでの一連の行動。
- ・インデックスタイム (INDEX TIME)  
主催者によってあらかじめ決められた基準タイム。

## 15 競 技

競技方法は次の2種類とする。

### 15-1 タイムトライアル競技

2～3回のタイムトライアルを行いE.T. (区間タイム) を競う。

### 15-2 トーナメント競技

#### 15-2-1 公式予選

15-2-1-1 決勝のラダーポジションを決定するために、最低1回のタイムトライアルによる公式予選を行なう。

15-2-1-2 各ライダーは、最低1回公式予選に出走しなければならない。

15-2-1-3 予選の優先順位 (Index Time方式以外)

15-2-1-3-1 有効なスタートと、有効なゴールを行なったライダーのE.T.順。

15-2-1-3-2 上記15-2-1-3-1が同タイムの場合はトップスピードの速い順。

15-2-1-3-3 上記15-2-1-3-2が同スピードの場合はRTが規程数値に近い順。

15-2-1-3-4 ファールスタートを行ったライダーは、RTが規程数値に近い順。

15-2-1-3-5 有効なスタートを行ったが1分未満にゴールに到着しなかったライダーには、59.999秒のタイムが与えられる。複数の場合のラダーポジションは大会審査委員会の決定に委ねられる。

15-2-1-3-5 上記以外の予選に関する順位付けは、審査委員会の決定に委ねられる。

15-2-1-4 予選の優先順位 (Index Time方式)

15-2-1-4-1 有効なスタートと、有効なゴールを行なったライダーのIndex Time順。

15-2-1-4-2 Index Time順とは、主催者によってあらかじめ決められた基準タイム (Index Time) より速いタイムを出したヒートはファウルとされ、Index Timeと同じかそれより遅いタイムでIndex Timeに近い者を勝者とする。

15-2-1-4-3 上記15-2-1-4-2が同タイムの場合は、RTが規定数値に近い順。

15-2-1-4-4 有効なスタートを行なったが1分未満にゴールに到着しなかったライダーには、59.999秒が与えられる。複数の場合のラダーポジションは大会審査委員会の決定に委ねられる。

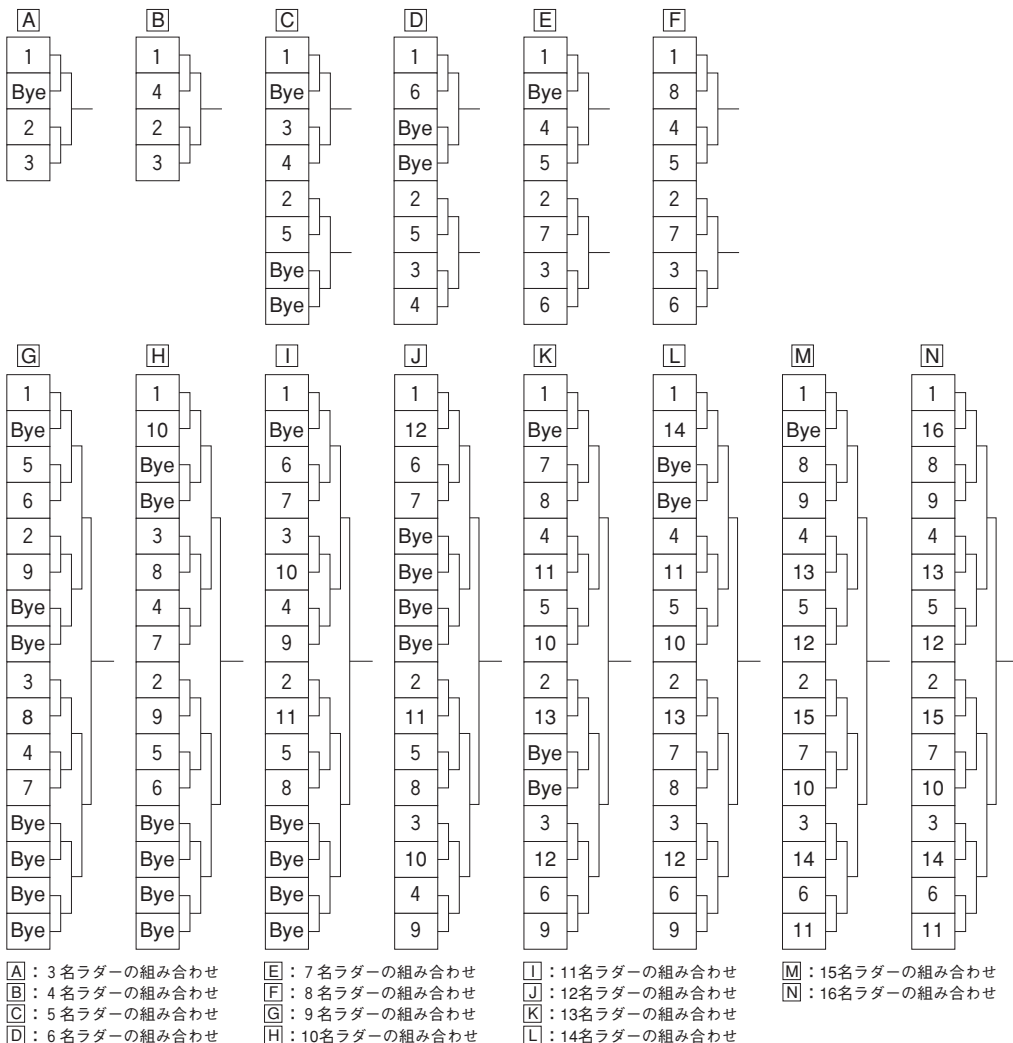
15-2-1-4-5 上記以外の予選に関する順位付けは、審査委員会の決定に委ねられる。

#### 15-2-2 決勝

決勝出走台数による決勝出走組み合わせ (ラダーポジション) は、タイムトライアルの順位によって次頁の表の通りとする。

# ドラッグレース競技規則

American Pro ladder by-run system (FIM Road Racing Rules Appendix028)



## 16 順位の決定

タイムトライアル、公式予選 (Index Time方式以外)	トーナメント (Index Time方式以外)
<p>1. E.T.のベストタイムの早い者が上位とする。</p> <p>2. 1. が同タイムの場合、トップスピードの速い者が上位とする。</p> <p>3. 2. が同速度の場合、リアクションタイムの早い者が上位とする。</p> <p>4. ファールスタートの場合、RTが規定数値に近い者が上位。E.Tは無効。</p>	<p>1. 勝者の決定</p> <p>(1) 2台同時にスタートし、先にゴールラインを超えた者が勝者とする。</p> <p>(2) (1) で同着の場合、E.T.の早い者が勝者とする。</p> <p>(3) (2) が同タイムの場合、トップスピードの速い者が勝者とする。</p> <p>(4) (3) が同速度の場合、前ヒートのE.T.の速い者が勝者とする。</p> <p>(5) (4) が同タイムの場合は大会審査委員会の決定による。</p> <p>(6) トーナメントラダー競技で確実なスタートをし、1分以内にゴールまで到達できない場合は、当該ヒート無効となる。左右レーン共にこの状態の場合は消滅するが、最終ヒートの場合のみR.T (リアクションタイム) の上位の者を勝者とする。</p>
Index Time方式	
<p>1. Index Timeより速いタイムを出したヒートはファウルとされ、Index Timeと同じか、それより遅いタイムでIndex Timeに近い者を勝者とする。</p> <p>2. 1 が同タイムの場合は、RTが規定数値に近い順。</p>	<p>2. 順位の決定</p> <p>(1) 最終ヒートの勝者が優勝となる。</p> <p>(2) 最終ヒートの敗者が2位となる。</p> <p>(3) 3位以下の順位は当該ライダーの完了したヒートごとのE.T.順に決定する。</p>

## 17 計測システムと計時結果

- 17-1 タイム計測
- 17-1-1 E.T.を光電管計測装置を使用し、1/1000秒単位まで計測を行う。
- 17-1-2 光電管計測装置が故障、事故等によって使用できない場合はストップウォッチを使用し手動計測で1/10秒単位まで計測する。
- 17-2 タイム発表は原則としてE.T.のみとする。
- 17-3 タイム計測ができない場合およびレース中の反則行為の取り扱い。

(1) 当該ヒート無効	① ステージング完了前にステージライトを消灯した場合。 ② ステージング後スタートシステム作動前にステージライトを消灯した場合。 ③ 相手側がプレステージまたはステージングしてから著しくプレステージまたはステージングが遅い場合。 ④ ファールスタート ⑤ センターライン等コースを区分けするラインを越えた場合。 ⑥ コースの設備、計測装置に接触した場合。 ※ラインを越えるとは、タイヤの一部でもライン塗装上を越えることを言う。ただしデュアルスタートで相手との接触を避けるためにラインを越えた場合は反則とは見なされない。 ⑦ Index Time方式の場合、Index Timeより早いタイムを記録した場合。
(2) 計測不能	① グリーンランプ点灯後5秒以内にスタートしない場合。 ② ジャンプスタート
(3) 59.999秒	タイムトライアル・予選においてスタート後ゴールラインを越えられない場合。

### 17-4 速度計測

ゴールラインの手前に設置された光電管によりゴールラインの通過速度（トップスピード）を測定する。

## 18 禁止行為

次の行為を行った場合失格となる。

- 18-1 バーンアウトで車両を後退させることができない場合：旋回してスタートラインへ戻ることは禁止される。
- 18-2 スタート前に2回エンジンが止まった場合：エンジンの再始動は1回のみ許される。
- 18-3 競技役員への許可なしにコースを逆走した場合。
- 18-4 パドック内、リターンロードでの最低速度遵守違反。

## 19 リタイヤ(棄権)と停止

- 19-1 リタイヤと停止は、国内競技規則・第3章 [23競技] (39頁) による。
- 19-2 ライダー本人が負傷その他の理由でリタイヤ届を提出できないときには、競技役員の見定によりリタイヤと認めることができる。

## 20 賞典

- 20-1 賞典は大会特別規則または公式通知にて示される。
- 20-2 賞典は参加台数により制限される場合がある。この制限は、大会特別規則または公式通知にて示される。
- 20-3 全日本選手権、地方選手権ポイントは、付則23 [13賞および得点] (254頁) による。

## 21 レース終了後の車両保管と再車検

- 21-1 上位入賞車両は、所定の位置により競技役員の見導に従って車両保管区域へ入らなくてはならない場合がある。

## ドラッグレース競技規則

- 21-2 エンジンを分解して排気量を測定するほか、規定を越える改造などについて再車検を行うことがある。
- 21-3 必要に応じて車両保管を行うことがある。

## 22 レースの成立

### 22-1 成立の条件

定められたスケジュールに従い参加者全員に走行の機会が与えられる。クラスごとに全員1回のタイムトライアル（またはトーナメント及び予選）が終了していれば、その時点で競技は成立したものとみなされる。

参加者の事情により走行しない場合も、クラス単位で競技は成立となる。

### 22-2 レース中断／中止時の順位決定方法

タイムトライアル、予選	トーナメント
1. 完了したヒートのE.T.のベストタイムが速い者が上位。	1. 公式予選のみ完了の場合、タイムトライアルに準ずる。
2. 1.が同タイムの場合、ドップスピードの速い者が上位。	2. 完了したヒートの勝者のE.T.の速い者が上位。
3. R.T.の速い者	3. 完了したヒートの敗者のE.T.の速い者が上位。
4. 3.が同じ場合、大会審査委員会の決定による。	

※Index Time方式の順位決定方法は別途定める。

## 23 レースおよび大会の延期・中止等

- 23-1 大会は原則として本規則に発表した日程から変更または延期されることはない。
- 23-2 レースまたは大会が参加申込後に中止された場合、参加者が支払った参加料、MFJ共済金掛金は返還されるが、他の一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。

## 24 抗議

- 24-1 抗議は、国内競技規則・第3章〔㉑抗議〕(41頁)による。
- 24-2 車両の分解検査に要した費用は、その抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合には抗議対象者が支払わなければならない。車両の分解等に要した費用は車検長が算定する。

## 25 違反に対する罰則

競技規則による違反行為に対する罰則は、国内競技規則・第3章〔㉓違反行為に対する罰則〕(42頁)による。

## 26 本規則の解釈

本特別規則および競技に関する疑義は事務局宛に質疑をすることができる。なお、この回答は、大会審査委員会の解釈、決定が最終的なものとして示される。

## 27 本規則の施行

本規則は、各競技大会の参加申込受付日より有効となる。なお本規則に示されていない事項は国内競技規則による。本規則は、2004年1月1日から施行する。